

3-11 Hoshigadai, Tajimi City, Gifu Pref., 507-0811 JAPAN

TEL. +81-572-22-5381 / FAX. +81-572-25-1163

URL: <http://www.ceram.rd.pref.gifu.lg.jp>Mail: info2@ceram.rd.pref.gifu.jp

Gifu Prefectural Ceramics Research Institute

岐阜県セラミックス研究所

since 1911

TM

「陶磁器 (飲食器) 製造の製造・品質にかかわる基礎研修 (初心者向け)」を開催します

当所では、県内の事業者及び県内の事業所に勤務されている従業員の方々に、陶磁器 (飲食器) 製造に関する基礎知識を習得し、日々の業務に役立てていただくことを目的とした基礎研修を実施します。

本年度は、陶磁器業界に新たに入られた方や、業務に携わって間もない方向けに、『陶磁器 (飲食器) の製造工程で行われるさまざまな評価・分析』について座学と機器見学を通して、基礎的な知識を学ぶ研修を企画いたしました。この機会を是非、貴社の人材育成の場としてご活用ください。

記

■ 日 時：令和8年11月13日(金) 14:30～16:30

■ 場 所：当所 研修室 (多治見市星ヶ台3-11)

■ 内 容：陶磁器 (飲食器) 製造工程で行われるさまざまな評価・分析について

講師：岐阜県セラミックス研究所 職員

・座学 (約60分)

陶磁器 (飲食器) の製造・品質にかかわる試験方法について解説

・機器見学 (約60分)

粒度分布測定装置、電子顕微鏡、衝撃試験機など当所保有の機器見学

■ 受講対象：県内の事業者または県内事業所に勤務する方

(陶磁器業界に新たに入られた方や、業務に携わって間もない方向けの基礎研修です。)

■ 定 員：20名

※先着順。ただし応募が定員を上回った場合、1社につき1名の参加でお願いすることがあります。

■ 受講費用：無料

■ 申込方法：右の2次元コード、または下記URLよりお申し込みください。

<https://logoform.jp/form/T8mB/1739184>

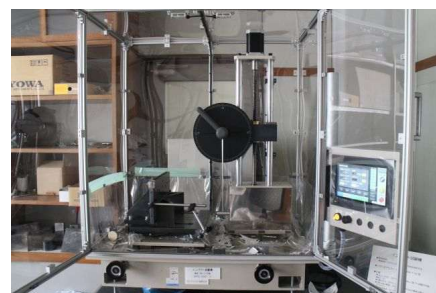
■ 申込期限：令和8年10月30日(金)



粒度分布測定装置



電子顕微鏡



衝撃試験機

「代用陶磁器が語る戦時下のものづくり展」を開催しました

8月3日(月)から21日(金)にかけて、当所展示場にて代用陶磁器が語る戦時下のものづくり展を開催しました。第二次世界大戦下には、不足する金属製品の代替として様々な陶磁器製品が使用されており、岐阜県陶磁器試験場(現セラムックス研究所)でも、代用陶磁器の研究開発や試作が行われていました。これに関して、当所で収蔵する当時製作された代用陶磁器試作品70点を初公開しました。

開催期間中には、107名の見学者や多くの取材の方々にご来場いただき、当時の出来事に思いを馳せる感慨深い機会となったと思われます。

■ 展示した代用陶磁器の一例



ストーブ



ストーブ



←くど焚口



←分銅



擬宝珠

講演会および令和8年度研究成果発表会を開催しました

10月2日(火)に、セラムックパークMINOにて講演会および当所の研究成果発表会を開催しました。鳴海製陶株式会社 研究開発部門 部門長の西部徹様に「素材を活かし、未来を守る ～ ボーンチャイナのスステナブルへの挑戦～」というタイトルで基調講演をしていただきました。また当所の昨年度の研究報告として、ショートプレゼンを兼ねた6件のポスター発表と、1件の技術報告を行いました。県内企業を中心とした62名の方にご参加いただき、活発な討論や意見交換が行われました。

今回発表を行った研究テーマに関する昨年度の研究報告書は下記にある当所Webサイトから閲覧できます。関心のある研究テーマがございましたら、電話またはメールにてお問い合わせください。

URL: https://www.ceram.rd.pref.gifu.lg.jp/posts/reports_archive.html



講演会の様子



ポスター発表の様子